

高城町文化財調査報告書 第17集

町内遺跡
発掘調査報告書Ⅴ

2005

高城町教育委員会

序

都城盆地の北東部に位置する高城町は、雄大な霧島を望む自然豊かな町であると共に、宮崎県指定文化財の「高城町古墳群」、「穂満坊のあげ馬」を始め、数多くの有形・無形文化財が残る歴史と文化の町でもあります。

本書は国・県の補助を受け平成16年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の記録です。開発予定地において文化財の有無を確認する試掘・確認調査を行い、牧ノ原遺跡群においてはその結果に基づき本発掘調査を実施し多大な成果が上がりました。この報告書が埋蔵文化財行政の一資料としてだけでなく、生涯学習の場において一般町民の方々に広く活用され、埋蔵文化財に対するご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

最後になりましたが、多大なるご協力を賜りました各関係機関並びに町民各位の皆様方に心から深く感謝を申し上げます。

平成17年3月

高城町教育委員会
教育長 内 田 國 昭

例 言

- 1 本書は高城町教育委員会が平成16年度に、文化庁及び宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した町内遺跡発掘調査の概要報告である。
- 2 調査は高城町教育委員会が主体となって実施し、宮崎県教育庁文化課主査飯田博之の指導をうけた。調査組織は次のとおりである。

調査主体 高城町教育委員会

教 育 長 内 田 國 昭

社会教育課課長 江内谷 満 義

同 課 長 補 佐 新 地 安 弘

同 文 化 係 長 永 峯 キヌ子

同 主 査 小 河 原 隆 文 (庶務担当)

同 主 事 近 沢 恒 典 (調査担当)

調 査 作 業 員 大 浦 フ ミ 窪 田 エミ子 黒 木 征 子 黒 木 トミ子
増 元 詢 子

調査指導 宮崎県教育庁

文 化 課 主 査 飯 田 博 之

- 3 本書で使用した標高は高城町役場建設課が設置した基準点を使用した。
- 4 調査にあたっては高城町役場農林振興課、建設課の協力を得た。また宮崎県教育庁文化課、宮崎県埋蔵文化財センター、都城市教育委員会文化課を始め多くの方々よりご教授、ご助言をいただいた。
- 5 本書の執筆及び編集は近沢がおこなった。
- 6 出土遺物や調査の資料は、高城町教育委員会で保管する。

本文目次

I たばこ反転客土事業に伴う埋蔵文化財確認調査	2
1 上原遺跡群	5
2 山城第1遺跡	8
3 下野遺跡	10
4 中野第1遺跡	13
5 田辺第1遺跡	16
II 竹楽のおサト建設に伴う埋蔵文化財試掘・確認調査：石山迫第3遺跡	18
III 須田木・軍人原線町道拡幅工事に伴う埋蔵文化財試掘・確認調査	20
1 牧ノ原遺跡群	20
2 社ヶ原遺跡	23

挿図目次

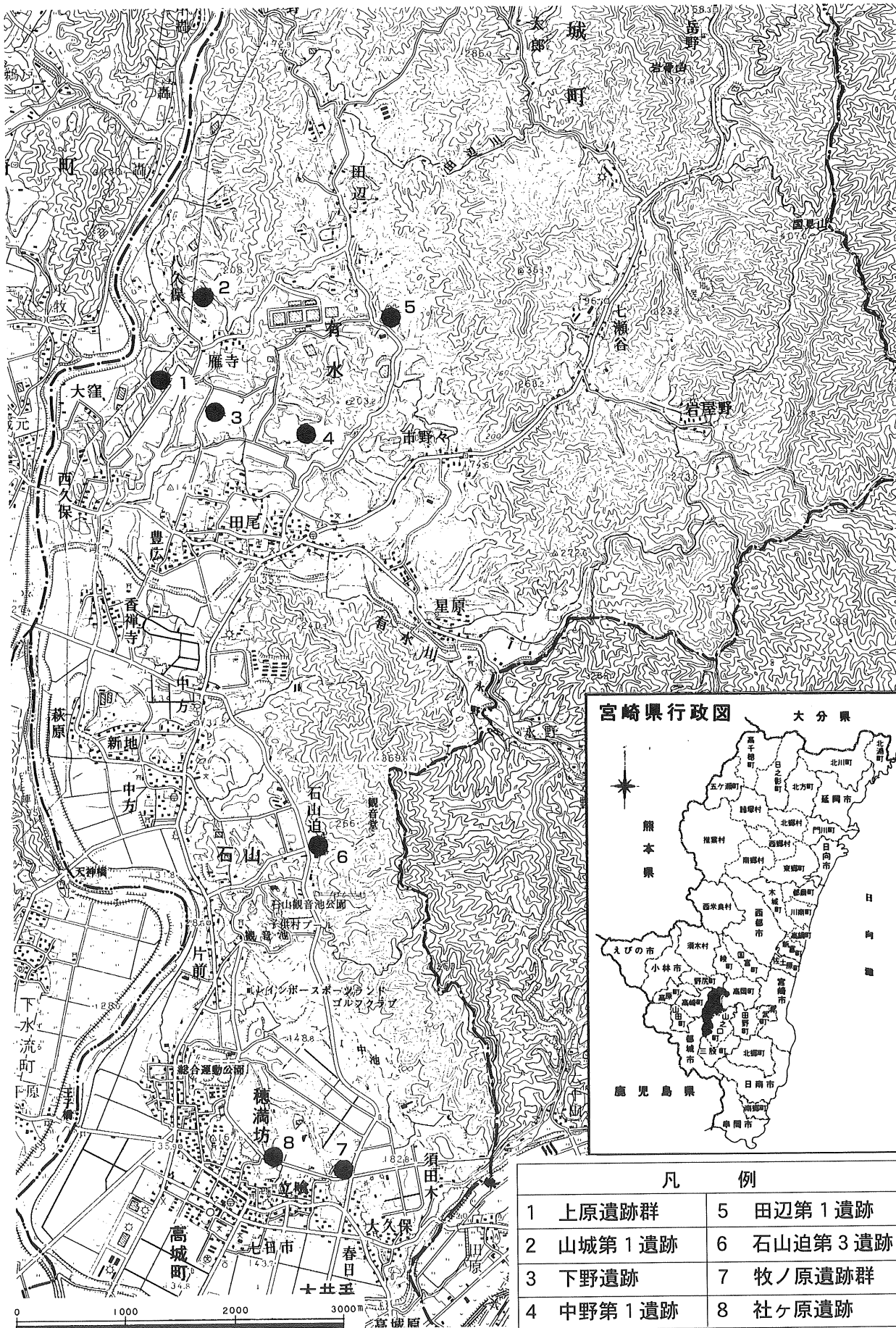
第1図 調査地位置図	1
第2図 たばこ反転客土事業調査地位置図1	3
第3図 たばこ反転客土事業調査地位置図2	4
第4図 上原遺跡群第1調査区層序模式図	5
第5図 上原遺跡群第1調査区トレンチ位置図	6
第6図 上原遺跡群第2調査区トレンチ位置図	6
第7図 山城第1遺跡層序模式図	8
第8図 山城第1遺跡トレンチ位置図	8
第9図 下野遺跡層序模式図	10
第10図 下野遺跡第1調査区トレンチ位置図	10
第11図 下野遺跡第2調査区トレンチ位置図	11
第12図 中野第1遺跡層序模式図	13
第13図 中野第1遺跡第1調査区トレンチ位置図	14
第14図 中野第1遺跡第2調査区トレンチ位置図	14
第15図 田辺第1遺跡層序模式図	16
第16図 田辺第1遺跡トレンチ位置図	16
第17図 石山迫第3遺跡層序模式図	18
第18図 石山迫第3遺跡調査地位置図	18
第19図 石山迫第3遺跡トレンチ位置図	19
第20図 牧ノ原遺跡群・社ヶ原遺跡調査地位置図	20
第20図 牧ノ原遺跡群層序模式図	21
第21図 牧ノ原遺跡群トレンチ位置図	21
第22図 社ヶ原遺跡層序模式図	23
第23図 社ヶ原遺跡トレンチ位置図	23

表目次

第1表 たばこ反転客土事業に伴う埋蔵文化財確認調査地	2
----------------------------	---

図版目次

図版 1	上原遺跡群第1調査区近景	6
図版 2	上原遺跡群第1調査区3号トレンチ土層堆積状況	6
図版 3	上原遺跡群第1調査区1号トレンチ	7
図版 4	上原遺跡群第1調査区2号トレンチ	7
図版 5	上原遺跡群第2調査区近景	7
図版 6	上原遺跡群第2調査区2号トレンチ	7
図版 7	上原遺跡群第2調査区3号トレンチ	7
図版 8	上原遺跡群作業風景	7
図版 9	山城第1遺跡近景	9
図版 10	山城第1遺跡1号トレンチ	9
図版 11	山城第1遺跡5号トレンチ	9
図版 12	山城第1遺跡3号トレンチ	9
図版 13	山城第1遺跡4号トレンチ	9
図版 14	山城第1遺跡作業風景	9
図版 15	下野遺跡遠景	11
図版 16	下野遺跡第1調査区近景	11
図版 17	下野遺跡第1調査区1号トレンチ	11
図版 18	下野遺跡第1調査区2号トレンチ	11
図版 19	下野遺跡第1調査区3号トレンチ	12
図版 20	下野遺跡第1調査区作業風景	12
図版 21	下野遺跡第2調査区1近景	12
図版 22	下野遺跡第2調査区1号トレンチ	12
図版 23	下野遺跡第2調査区2号トレンチ	12
図版 24	下野遺跡第2調査区採集遺物	12
図版 25	中野第1遺跡第1調査区近景	14
図版 26	中野第1遺跡第1調査区2号トレンチ	14
図版 27	中野第1遺跡第1調査区3号トレンチ	15
図版 28	中野第1遺跡第2調査区近景	15
図版 29	中野第1遺跡第2調査区2号トレンチ	15
図版 30	中野第1遺跡第2調査区3号トレンチ	15
図版 31	中野第1遺跡第2調査区4号トレンチ	15
図版 32	中野第1遺跡第2調査区出土遺物	15
図版 33	田辺第1遺跡近景	17
図版 34	田辺第1遺跡1号トレンチ	17
図版 35	田辺第1遺跡2号トレンチ	17
図版 36	田辺第1遺跡3号トレンチ	17
図版 37	田辺第1遺跡4号トレンチ	17
図版 38	田辺第1遺跡作業風景	17
図版 39	石山迫第3遺跡近景	19
図版 40	石山迫第3遺跡1号トレンチ	19
図版 41	石山迫第3遺跡3号トレンチ	19
図版 42	石山迫第3遺跡5号トレンチ	19
図版 43	牧ノ原遺跡群遠景1	21
図版 44	牧ノ原遺跡群遠景2	22
図版 45	牧ノ原遺跡群1号トレンチ	22
図版 46	牧ノ原遺跡群2号トレンチ	22
図版 47	牧ノ原遺跡群3号トレンチ	22
図版 48	牧ノ原遺跡群地下式横穴墓竪坑検出状況	22
図版 49	社ヶ原遺跡近景	24
図版 50	社ヶ原遺跡2号トレンチ	24
図版 51	社ヶ原遺跡3号トレンチ	24
図版 52	社ヶ原遺跡4号トレンチ	24
図版 53	社ヶ原遺跡5号トレンチ	24
図版 54	社ヶ原遺跡5号トレンチ土層堆積状況	24



凡 例	
1 上原遺跡群	5 田辺第1遺跡
2 山城第1遺跡	6 石山迫第3遺跡
3 下野遺跡	7 牧ノ原遺跡群
4 中野第1遺跡	8 社ヶ原遺跡

第1図 調査地位置図(1/50,000)

I たばこ反転客土事業に伴う埋蔵文化財確認調査

調査に至る経緯

今回の調査は高城町有水たばこ生産組合が計画した平成16年度葉たばこ反転客土事業に起因する。平成15年12月、高城町農林振興課を通じ高城町有水たばこ生産組合より平成16年度葉たばこ反転客土事業予定地内における埋蔵文化財の所在について照会があった。事業予定地は南北に細長い高城町のほぼ中央、高崎町との町境である大淀川の東岸に位置する大字有水に広がる台地上に所在し、いずれも周知の文化財包蔵地内であった。また当台地群内では平成4年度から平成12年度にかけて実施された県営ほ場整備事業細井地区、平成10年度葉たばこ反転客土事業に伴い発掘調査が実施されており、縄文時代後期住居址群、中世掘立柱建物群等が出土している。そのため重要な遺跡が存在している可能性が高く、高城町有水たばこ生産組合、高城町農林振興課、高城町教育委員会の3者間において慎重な協議が進められた。

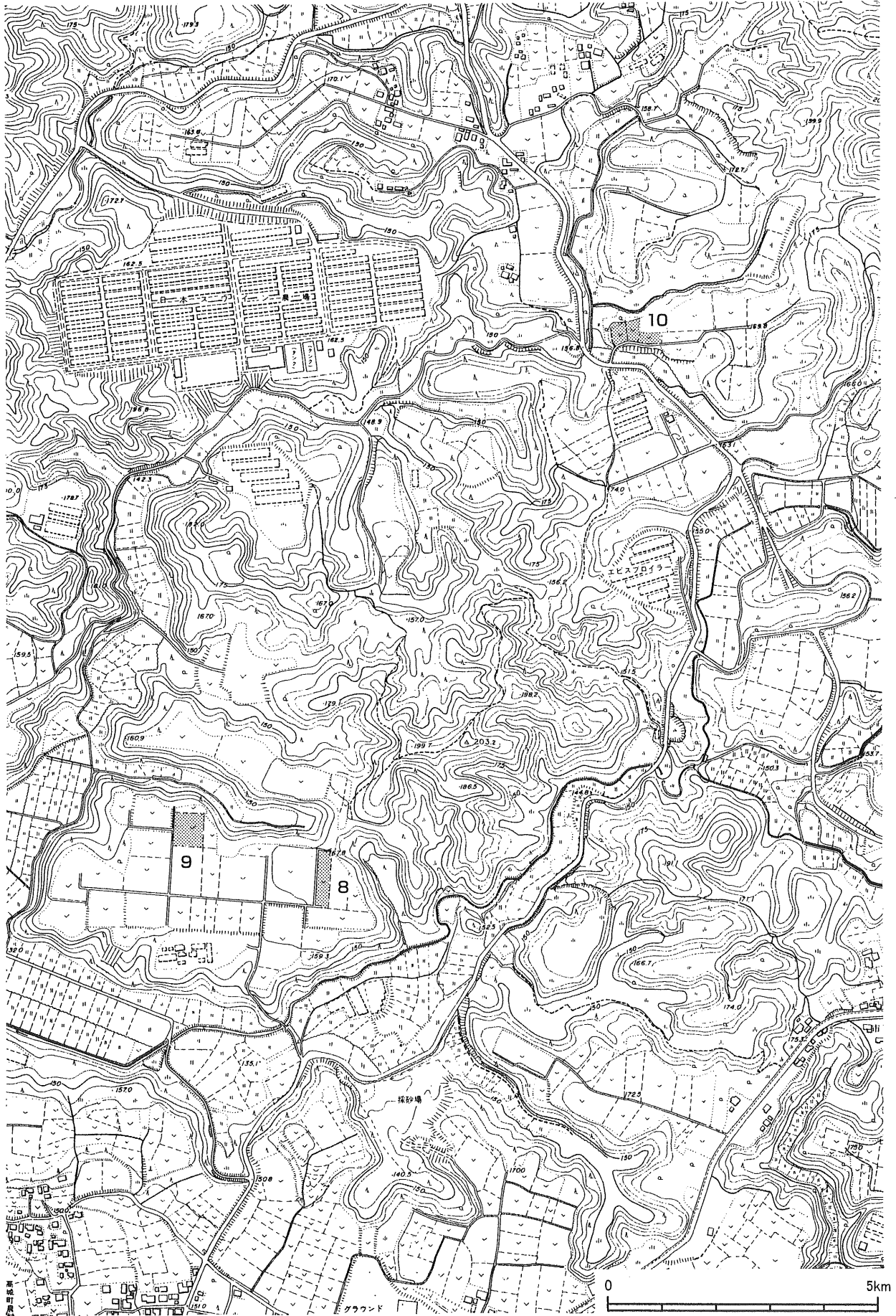
その結果、確認調査を実施した後、記録保存のための発掘調査が必要となった場合は予定地を変更し、遺跡の保存に努めるとの合意がなされた。既存の作物の収穫を待って平成15年度に2ヶ所、平成16年度において8ヶ所の確認調査を実施した。

第1表 たばこ反転客土事業に伴う埋蔵文化財確認調査地

No.	遺跡名	地番	調査期間	備考
1	上原遺跡群（第1調査区）	高城町大字有水1452番地5 高城町大字有水1452番地6	平成16年9月13日	
2	上原遺跡群（第2調査区）	高城町大字有水1452番地17	平成16年10月12日	
3	山城第1遺跡	高城町大字有水1747番地4 高城町大字有水1747番地5	平成15年12月24日	「町内遺跡発掘調査報告書IV」
4	山城第1遺跡	高城町大字有水1746番地6 高城町大字有水1746番地7 高城町大字有水1746番地8	平成16年09月14日	
5	下野遺跡	高城町大字有水2311番地1	平成15年12月23日	「町内遺跡発掘調査報告書IV」
6	下野遺跡（第1調査区）	高城町大字有水2297番地4 高城町大字有水2297番地11	平成16年09月15日	
7	下野遺跡（第2調査区）	高城町大字有水2324番地1	平成16年12月10日	
8	中野第1遺跡（第1調査区）	高城町大字有水3238番地1	平成16年12月08日	
9	中野第1遺跡（第2調査区）	高城町大字有水3210番地4	平成16年12月09日	
10	田辺第1遺跡	高城町大字有水2118番地67 高城町大字有水2118番地68 高城町大字有水2165番地3	平成16年12月13日	



第2図 たばこ反転客土事業調査地位置図1(1/10,000)



第3図 たばこ反転客土事業調査地位置図2(1/10,000)

1 上原遺跡群

位置と環境

有水たばこ生産組合が計画した平成16年度葉たばこ反転客土事業予定地は高城町大字有水に広がるシラス台地、成層シラス台地群上に立地する。これらの台地群は都城盆地北部、九州山地と南那珂山地との間に形成される小起伏山地のやや南側に位置し、大淀川を挟み高城町域、高崎町域を合わせ南北約5 km、東西約5 kmにわたり展開している。

「上原遺跡群」は台地群のほぼ中央、西を大淀川、南を大淀川の支流である有水川に囲まれた南北約2 km、東西約0.5 km、標高約150mの細長い台地上に立地する。「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において縄文時代・古墳時代・中世の遺物散布地として記録されている。地形は台地北側が高く、南に延びるに従い緩やかに下る。台地縁辺には幾本もの谷が刻まれ、入り組んだ地形を形成している。事業予定地は台地北側に位置し、平成6年度に発掘調査が実施され縄文時代後期住居跡のほか、ヒスイ製管玉等が出土した「上原第3遺跡」の隣接地にあたる。現在は畑地として利用されている。

今回の調査区は上原遺跡群内において2ヶ所であり、調査の進行に順じて第1調査区、第2調査区と命名した。

調査の内容

両調査区共に2 m×3 mを基本とするトレンチ3本を設定し、重機を使用し掘下げを行い、作業員により遺物の採取、遺構の確認と掘下げを行った。

土層の堆積状況は第1調査区においては耕作土直下がアカホヤ火山灰となり、なおかつその上面は削られていた。アカホヤ火山灰以上が削平をうけていた理由は県営ほ場整備事業細井地区によるものと考えられる。また第2調査区においては1、3号トレンチにおいて造成土直下が小林軽石となるなど大規模な攪乱を受けていた。

いずれの調査区においても明確な遺構の出土は確認されず、出土遺物は第1調査区2号トレンチ付近において採取された土器片1点のみであった。

1	1層 造成土	
2	2層 アカホヤ火山灰	
3	3層 黒色土 (カシワバン)	しまり非常に強く、硬質。牛の脛火山灰に相当する。
4	4層 黒色土	しまり強い。微量の赤色軽石(1~3mm)を含む
5	5層 黒褐色土	しまり強い。ごく少量の赤色軽石(1~3mm)を含む。
6	6層 暗褐色土	しまりやや弱い。ごく微量の赤色、白色粒子を含む。
7	7層 褐色土	しまり強い。ごく微量の赤色、白色粒子、小林軽石を含む
8	8層 小林軽石	

第4図 上原遺跡群第1調査区層序模式図



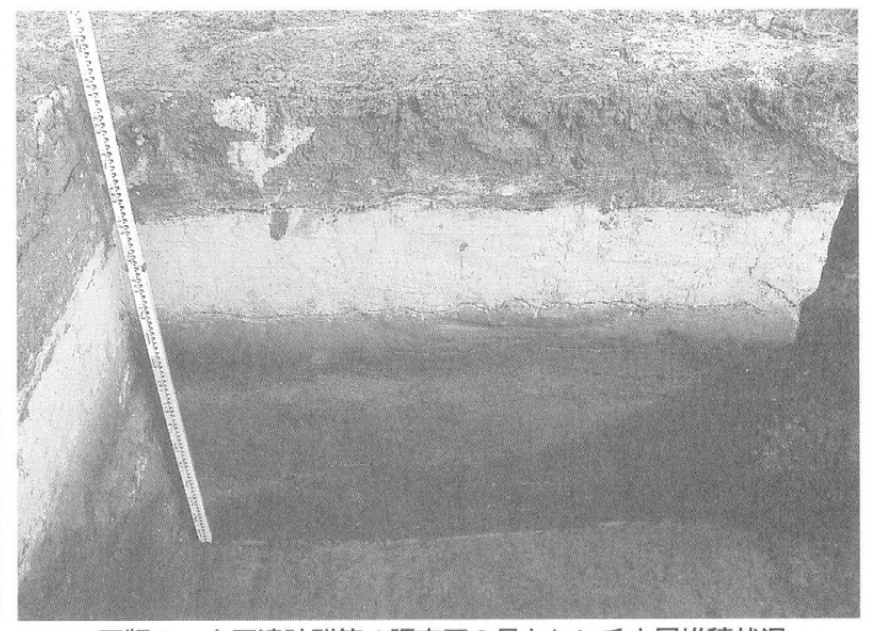
第5図 上原遺跡群第1調査区トレンチ位置図



第6図 上原遺跡群第2調査区トレンチ位置図



図版1 上原遺跡群第1調査区近景



図版2 上原遺跡群第1調査区3号トレンチ土層堆積状況



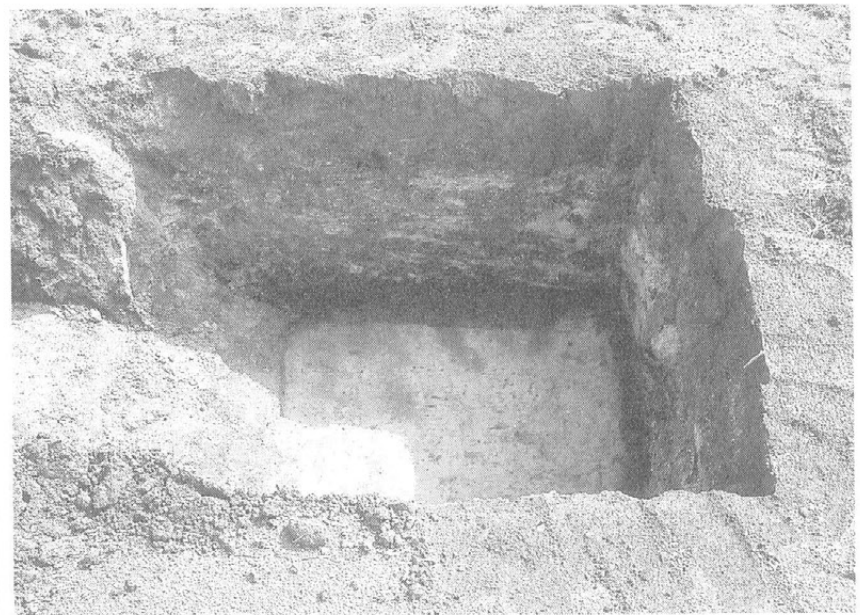
図版3 上原遺跡群第1調査区1号トレンチ



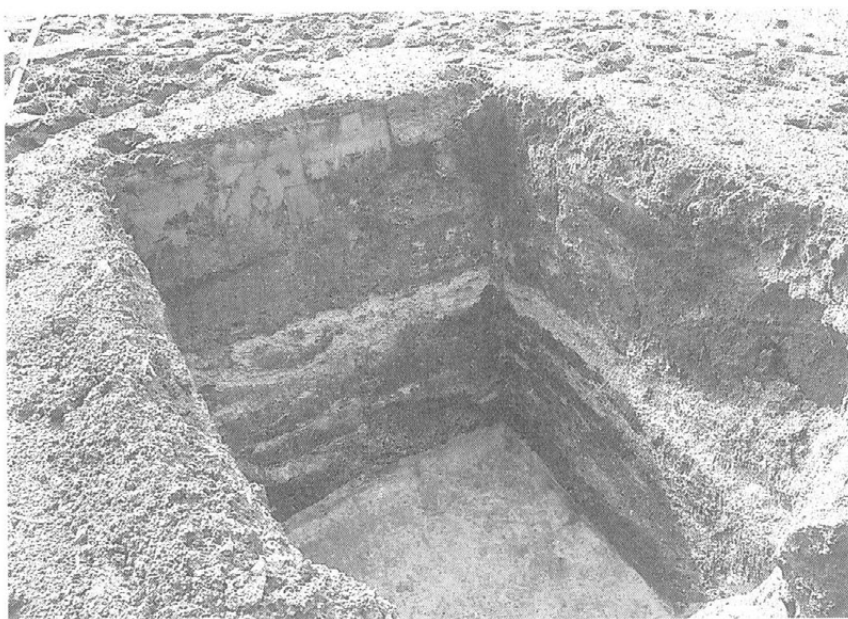
図版4 上原遺跡群第1調査区2号トレンチ



図版5 上原遺跡群第2調査区近景



図版6 上原遺跡群第2調査区2号トレンチ



図版7 上原遺跡群第2調査区3号トレンチ



図版8 上原遺跡群作業風景

2 山城第1遺跡

位置と環境

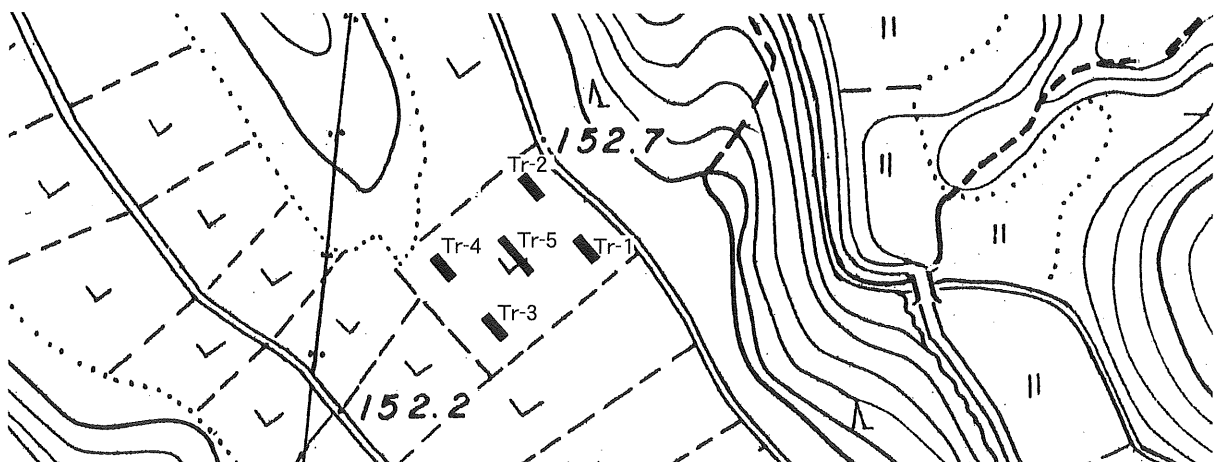
「山城第1遺跡」は台地群の東側、北を大淀川の支流である八久保川、東西を谷によって切られた南北約400m、東西約400m、標高約150mの台地上に立地する。「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において縄文時代・平安時代・中世の遺物散布地として記録されている。平成12年度に発掘調査が実施された台地中央部では縄文時代の竪穴住居跡52軒、古墳時代の竪穴住居跡4軒等が出土している。現在は畑地として利用されている。

調査の内容

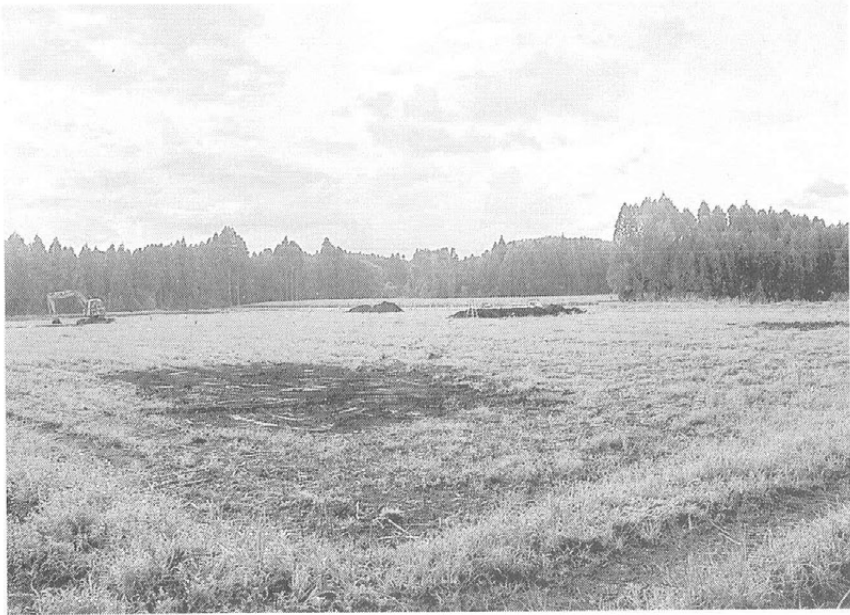
調査は2×3mを基本とするトレンチ3本、1m×8mのトレンチ1本を開発予定地内に設定した。各トレンチ共重機を使用し掘下げを行い、作業員により遺物の採集、遺構の確認と遺構の掘下げを行った。堆積状況は1号トレンチではアカホヤ火山灰以上が削平を受け、5号トレンチでは霧島御池軽石以上が削平を受けていたが、それ以外は霧島御池軽石上の褐色土が若干残存している状況であった。層序より旧地形が台地中央に近い調査区北東側が高く南西方向に向けて下る緩やかな斜面であったと考えられた。いずれのトレンチにおいても明確な遺構は確認されず、遺物も出土していない。

1	1 耕作土	
2	2 褐色土	しまり弱い。少量の霧島御池軽石を含む。
3	3 霧島御池軽石	
4	4 黒色土	しまりやや弱い。やや粘性。微量の霧島御池軽石を含む
5	5 アカホヤ火山灰	
6	6 黒色土 (カシワバン)	しまり非常に強く、硬質。牛の脛火山灰に相当する。
7	7 黒色土	しまり強い。微量の赤色軽石(1~3mm)を含む。
8	8 暗褐色土	しまりやや弱い。微量の赤色、白色粒子を含む。
9	9 褐色土	しまり強い。ごく少量の小林軽石を含む。
10	10 褐色土	しまり強い。少量の小林軽石を含む。

第7図 山城第1遺跡層序模式図



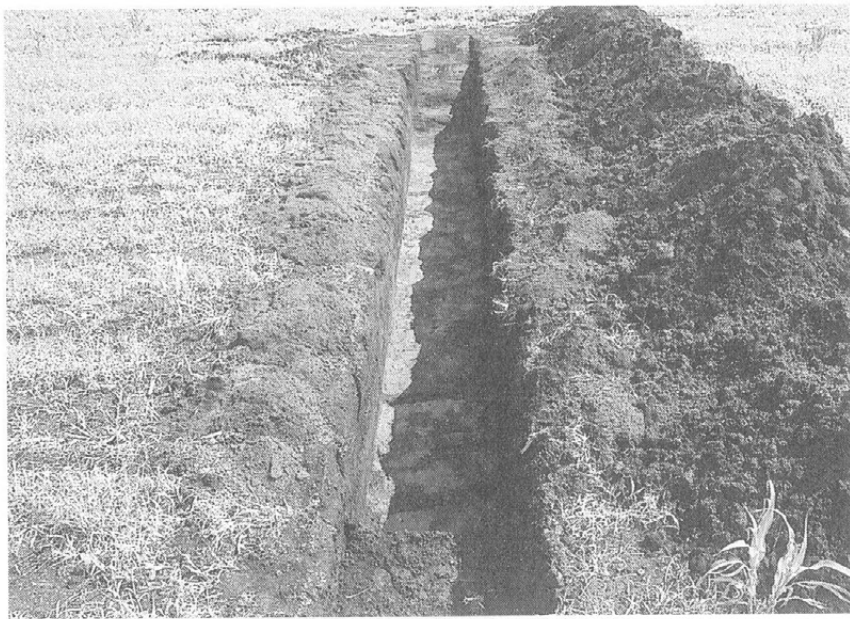
第8図 山城第1遺跡トレンチ位置図



図版9 山城第1遺跡近景



図版10 山城第1遺跡1号トレンチ



図版11 山城第1遺跡5号トレンチ



図版12 山城第1遺跡3号トレンチ



図版13 山城第1遺跡4号トレンチ



図版14 山城第1遺跡作業風景

3 下野遺跡

立地と環境

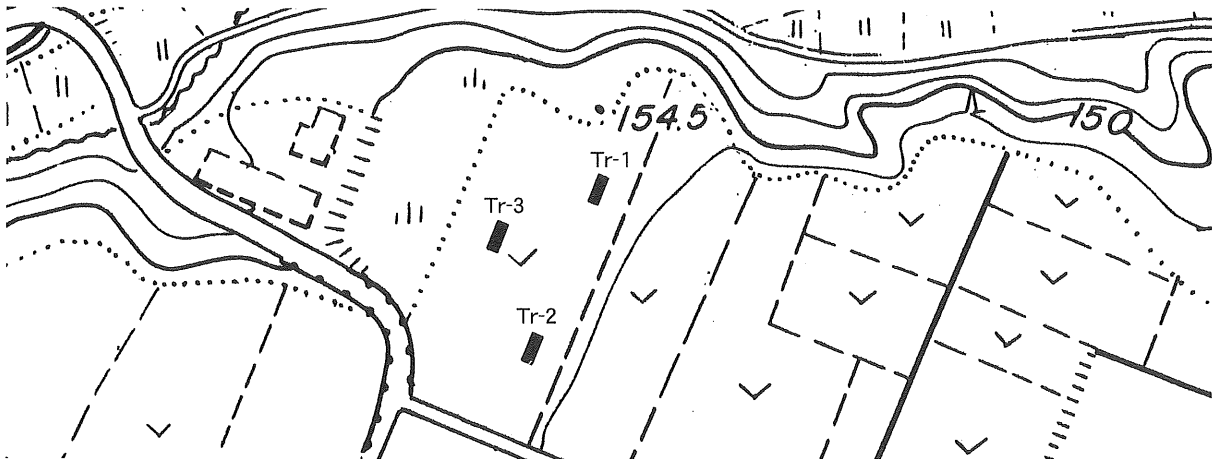
「下野遺跡」は上原遺跡群の在する台地の西側、四方を谷によって切られた南北約600m、東西約700m、標高160～150mの台地上に立地する。東から南西の谷にかけて大淀川の支流である永山川が位置している。「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において縄文時代・弥生の遺物散布地として記録されている。台地中央部は平成10年度に葉タバコ反転客土事業に伴い発掘調査が実施され、掘建柱建物2軒、縄文時代～平安時代にかけての遺物が出土している。現在は畑地として利用されている。今回の調査区は下野遺跡内において2ヶ所であり、調査の進行に順じて第1調査区、第2調査区と命名した。

調査の内容

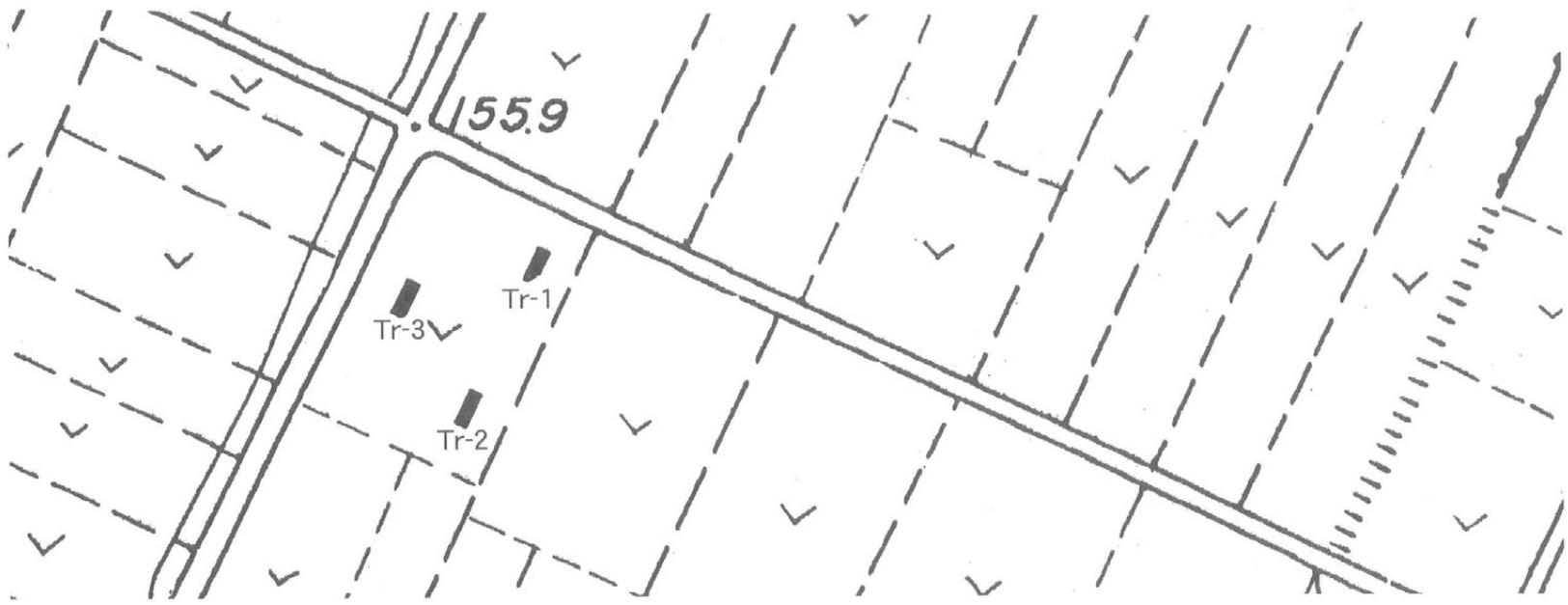
両調査区共に2m×5mのトレンチ3本を設定し、各トレンチ共重機を使用し掘下げを行い、作業員により遺構の確認と遺構の掘下げを行った。堆積状況は第1調査区北側2、3号トレンチでは霧島御池軽石上の黒褐色土からが残存していたが、他のトレンチでは霧島御池軽石以上が削平をうけていた。いずれのトレンチにおいても明確な遺構は確認されず、遺物は第2調査区において表採された数点のみであった。

1	1 耕作土	
2	2 黒褐色土	しまりやや強い。少量の霧島御池軽石を含む。
3	3 霧島御池軽石	
4	4 黒色土	しまりやや弱い。やや粘性。微量の霧島御池軽石を含む
5	5 褐色土	しまり強い。ごく微量のアカホヤ粒子を含む
6	6 アカホヤ火山灰	
7	7 黒色土 (カシワバン)	非常にしまりが強く、硬質。牛の脛火山灰に相当する。
8	8 黒色土	しまり弱く、やや粘性。ごく少量の赤色粒子を含む。
9	9 黒褐色土	しまり強い。少量の赤色粒子を含む。
10	10 暗褐色土	しまり強い。ごく微量の赤色粒子を含む
11	11 褐色土	しまり強い。ごく微量の橙色粒子、小林軽石を含む。
12	12 小林軽石	

第9図 下野遺跡層序模式図



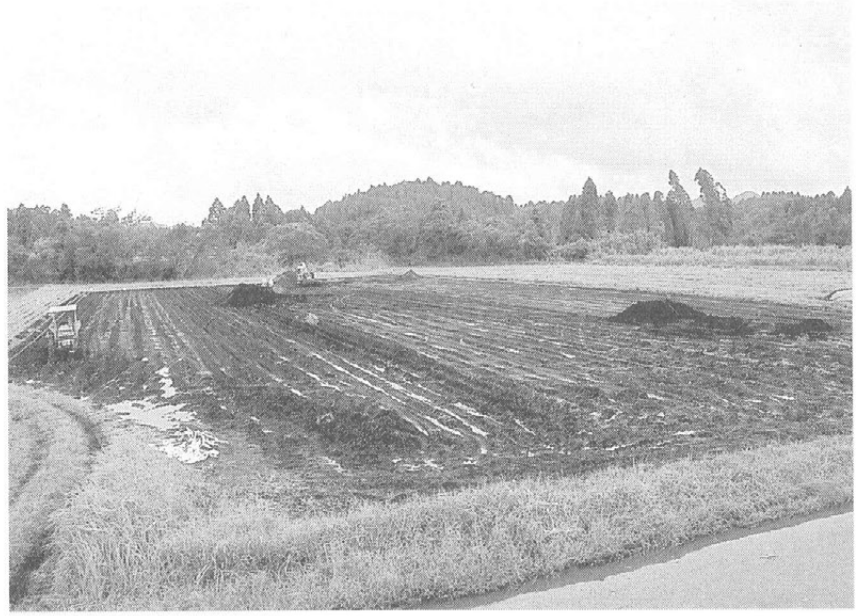
第10図 下野遺跡第1調査区トレンチ位置図



第11図 下野遺跡第2調査区トレンチ位置図



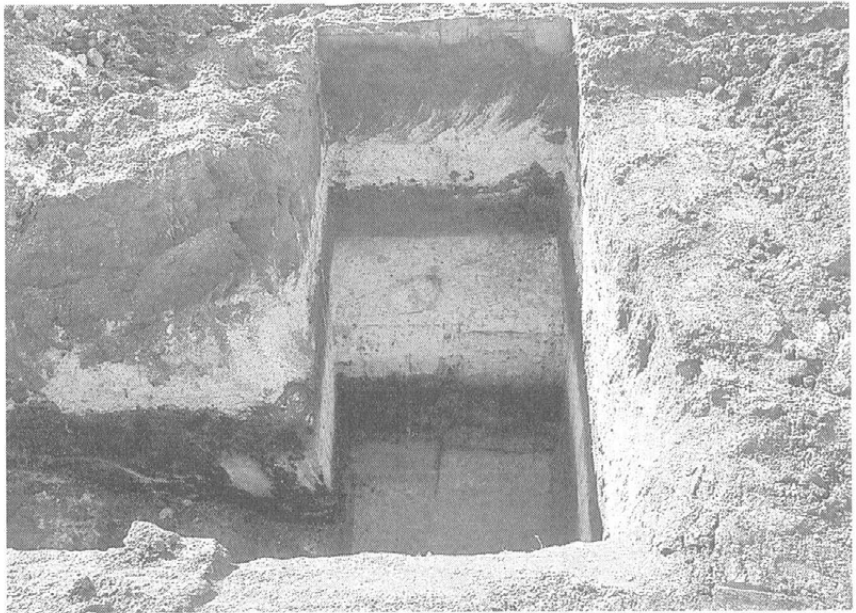
図版15 下野遺跡遠景



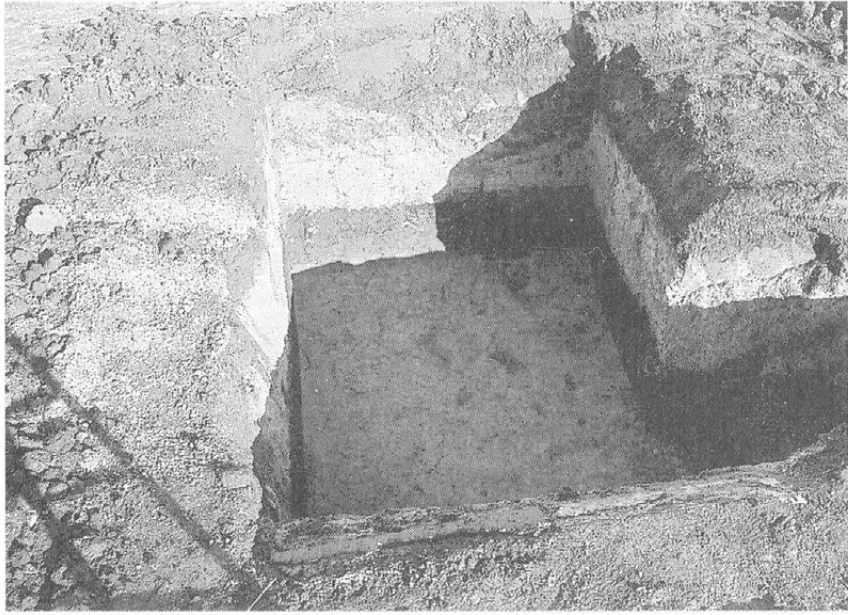
図版16 下野遺跡第1調査区近景



図版17 下野遺跡第1調査区1号トレンチ



図版18 下野遺跡第1調査区2号トレンチ



図版19 下野遺跡第1調査区3号トレンチ



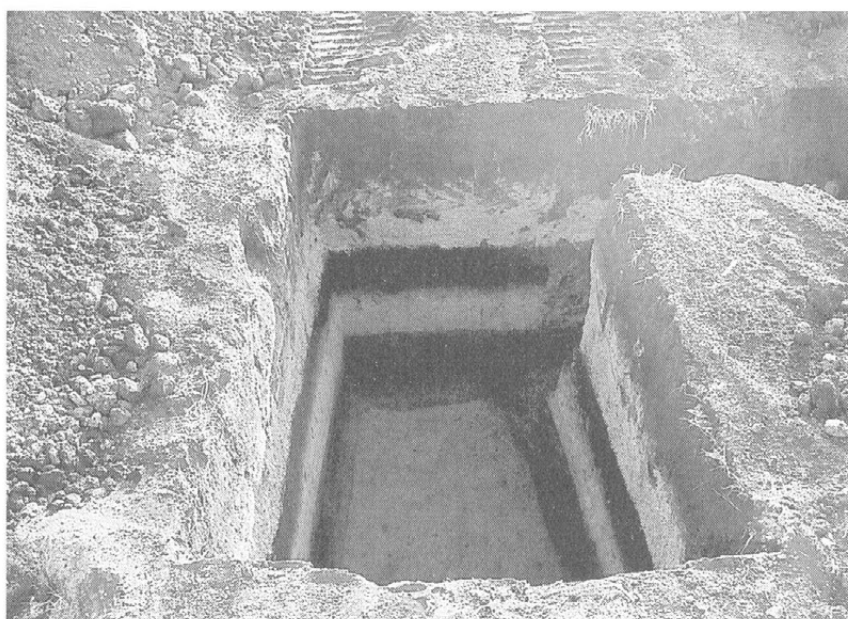
図版20 下野遺跡第1調査区作業風景



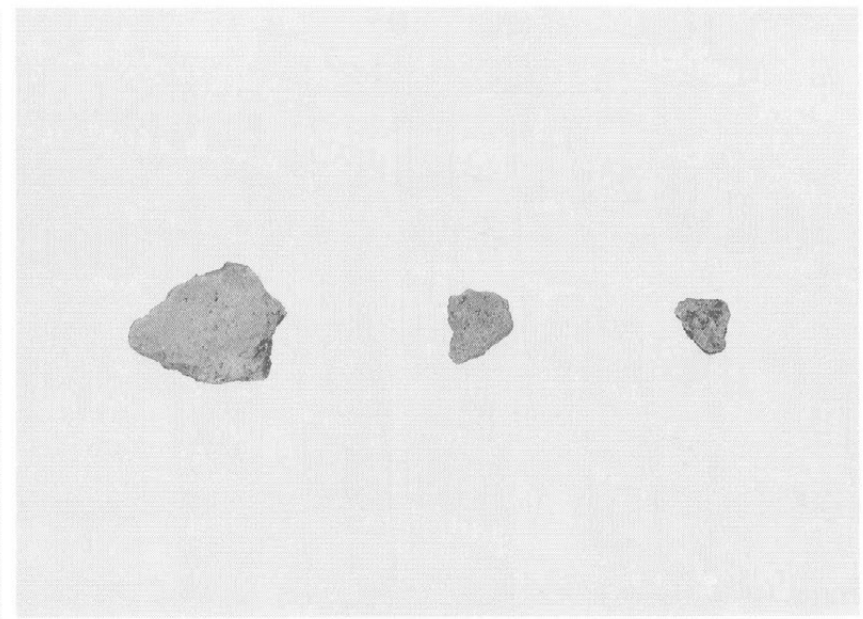
図版21 下野遺跡第2調査区近景



図版22 下野遺跡第2調査区1号トレンチ



図版23 下野遺跡第2調査区2号トレンチ



図版24 下野遺跡第2調査区採集遺物

4 中野第1遺跡

立地と環境

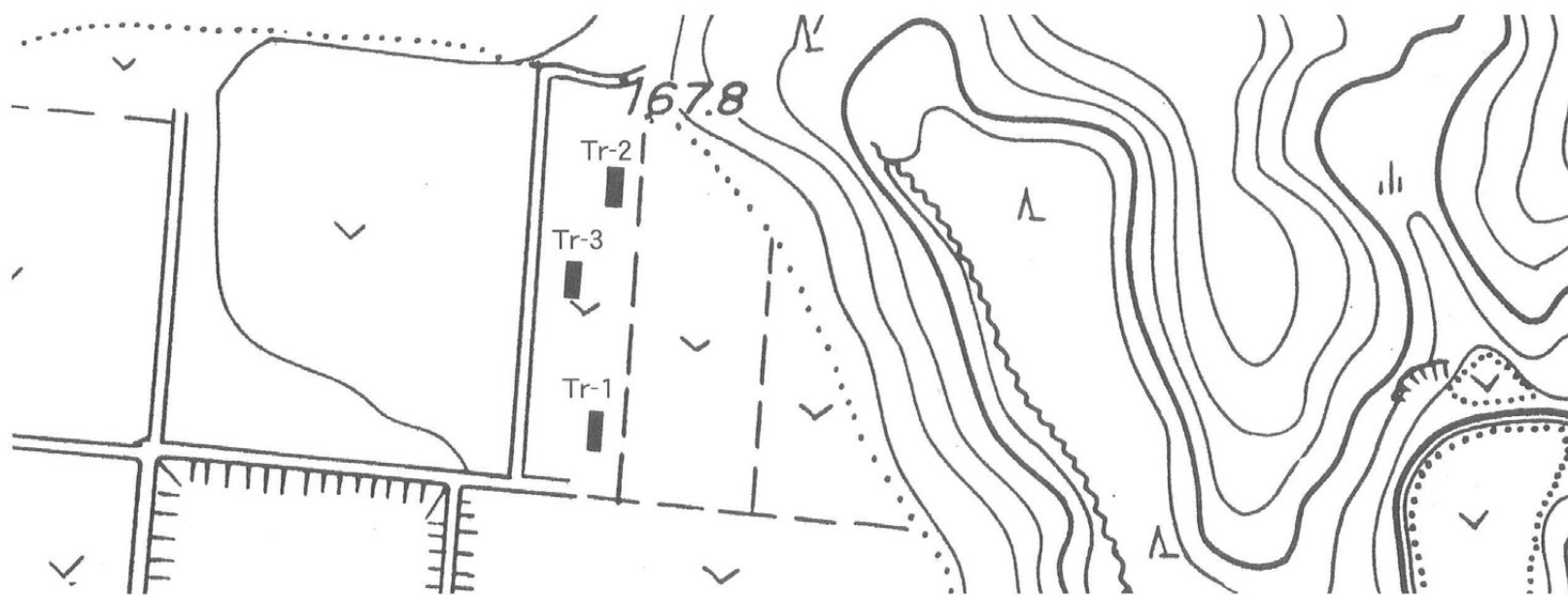
「中野第1遺跡」は台地群の東端、下野遺跡の在する台地と谷を挟んだ西側、四方を谷によって切られた南北約650m、東西約300m、標高約160mの台地上に立地する。北東から南西の谷には大淀川の支流である永山川が位置している。「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において縄文時代・弥生時代の遺物散布地として記録されている。現在は畑地として利用されている。今回の調査区は中野第1遺跡内において2ヶ所であり、調査の進行に順じて第1調査区、第2調査区と命名した。

調査の内容

第1調査区においては2m×3mを基本とするトレンチ3本、第2調査区においては2m×3mを基本とするトレンチ3本、1×7mのトレンチ1本を設定し、各トレンチ共重機を使用し掘下げを行い、作業員により遺構の確認と遺構の掘下げを行った。堆積状況は第1調査区では西側1、2号トレンチにおいてアカホヤ火山灰以上が削平を受け、3号トレンチでは霧島御池軽石上黒色土からが良好な状態で残存していた。第2調査区では耕作土直下より10～13世紀に霧島火山から噴出したとされる高原スコリアが検出された。層序より旧地形は第1調査区では北側が高く南方に向けて下る斜面、第2調査区でも北側から南方へと緩やか下る斜面であったと考えられた。両調査区ともに明確な遺構は検出されず、遺物は第2調査区2号トレンチにて土器片1点が出土したほか、第2調査区において土器片、白磁片が数点採集されたのみであった。

1	1 耕作土	
2	2 高原スコリア	
3	3 暗褐色土	しまり弱い。微量の高原スコリア、霧島御池軽石を含む。
4	4 黒色土	しまり弱い。ごく少量の霧島御池軽石を含む。
5	5 霧島御池軽石	
6	6 黒色土	しまりやや弱い。やや粘性。ごく微量の霧島御池軽石を含む。
7	7 褐色土	しまり強い。少量のアカホヤ粒子を含む。
8	8 アカホヤ火山灰	
9	9 黒色土 (カシワバン)	非常にしまりが強く、硬質。牛の脛火山灰に相当する。
10	10 黒色土	しまり強い。微量の赤色軽石(1～3mm)を含む。
11	11 黒褐色土	しまり強い。少量の赤色軽石(1～3mm)を含む
12	12 暗褐色土	しまり強い。ごく微量の赤色粒子を含む。
13	13 褐色土	しまりやや弱い。ごく少量の小林軽石を含む。
14	14 小林軽石	

第12図 中野第1遺跡層序模式図



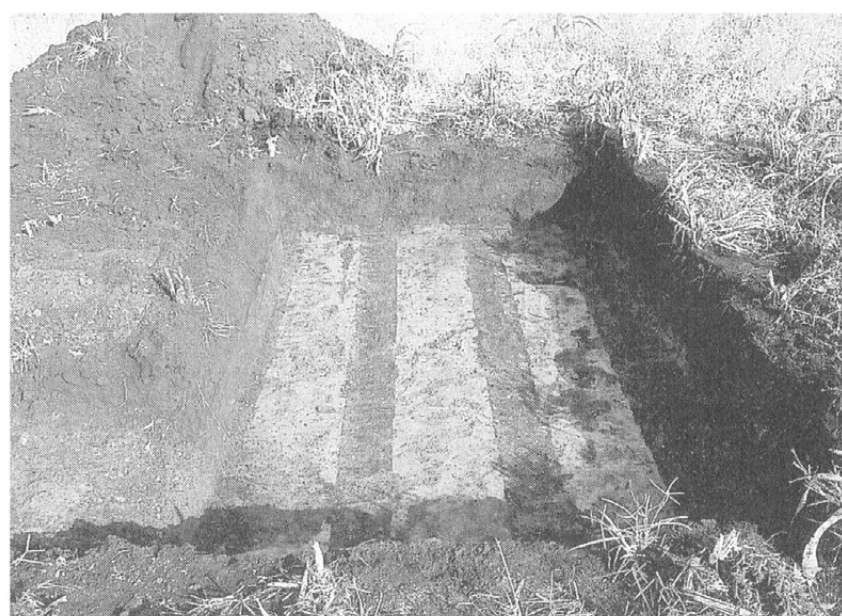
第13図 中野第1遺跡第1調査区トレンチ位置図



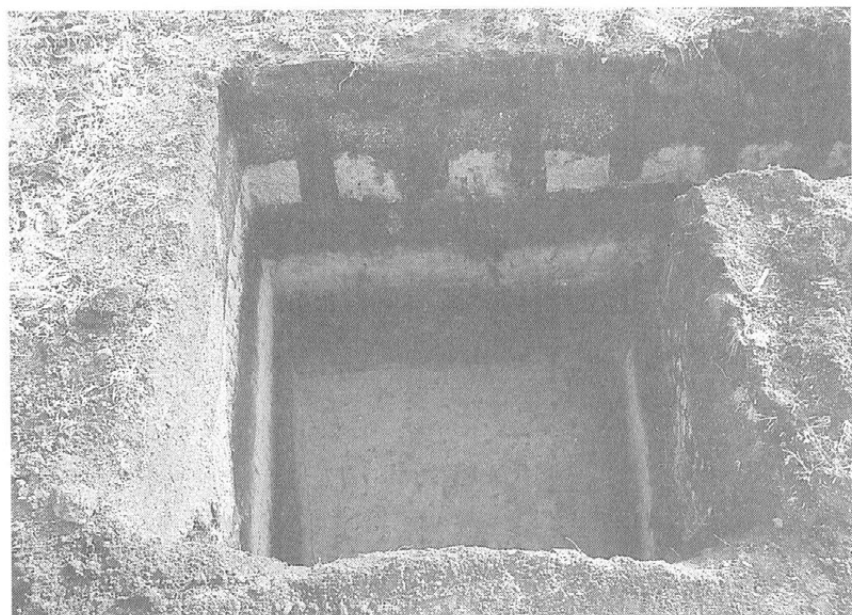
第14図 中野第1遺跡第2調査区トレンチ位置図



図版25 中野第1遺跡第1調査区近景



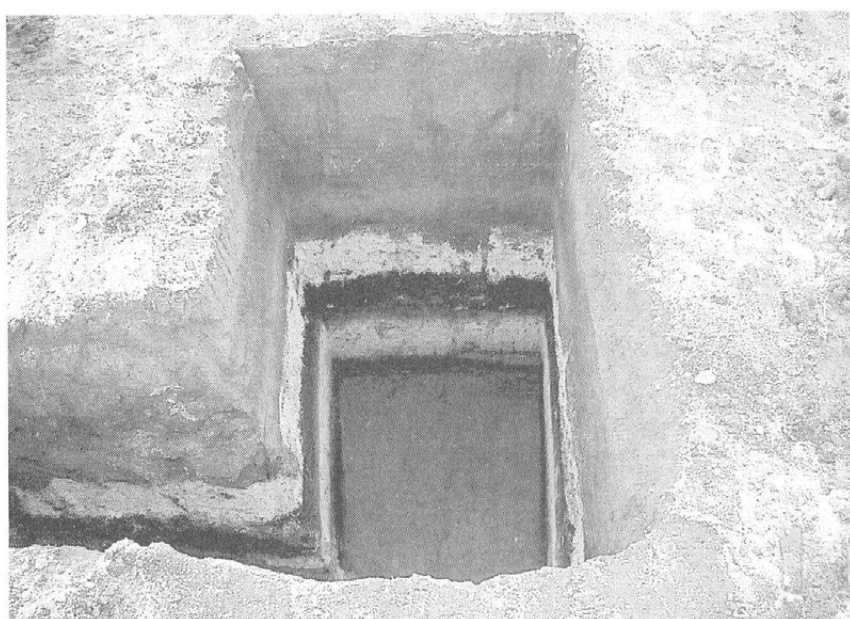
図版26 中野第1遺跡第1調査区2号トレンチ



図版27 中野第1遺跡第1調査区3号トレンチ



図版28 中野第1遺跡第2調査区近景



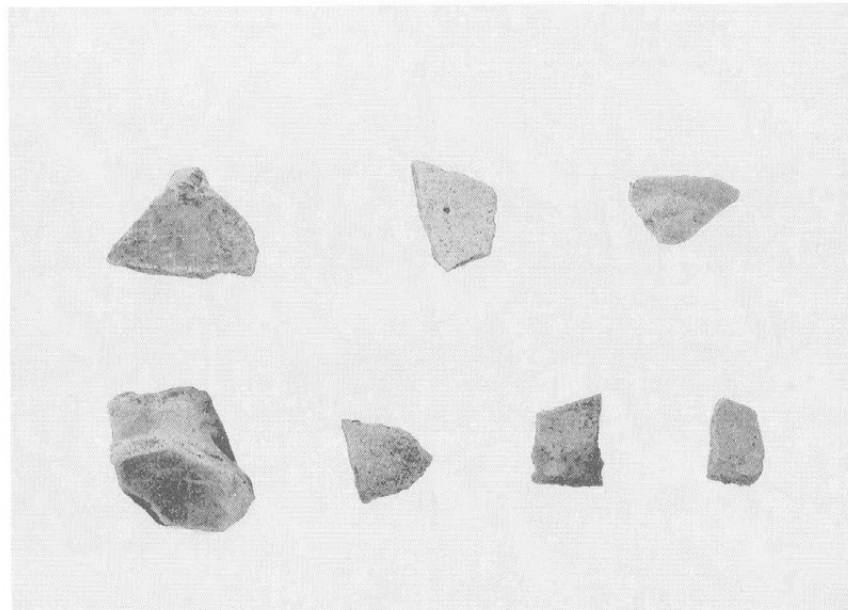
図版29 中野第1遺跡第2調査区2号トレンチ



図版30 中野第1遺跡第2調査区3号トレンチ



図版31 中野第1遺跡第2調査区4号トレンチ



図版32 中野第1遺跡第2調査区出土遺物

5 田辺第1遺跡

位置と環境

「田辺第1遺跡」は台地群の東端、三方を谷によって切られた南北約300m、東西約400m、標高約170mのシラス台地上の西端に位置する。「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において弥生時代の遺物散布地として記録されている。現在は畑地として利用されている。

調査の内容

調査は2×3mを基本とするトレンチ4本を開発予定地内に設定した。各トレンチ共重機を使用し掘下げを行い、作業員により遺物の採集、遺構の確認と遺構の掘下げを行った。

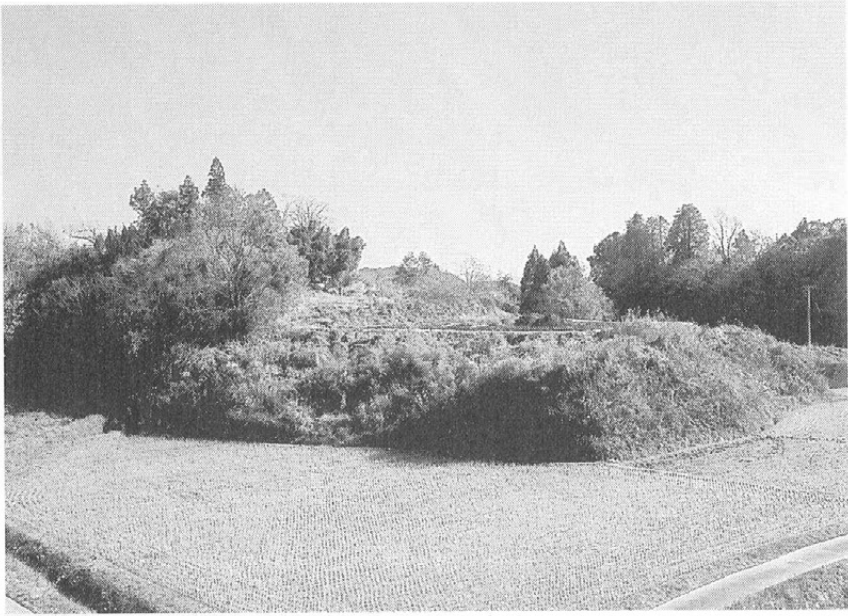
堆積状況は1号トレンチでは霧島御池軽石以下が残存していたが、他のトレンチにおいては表土直下アカホヤ火山灰となるなど大きな地形改変をうけている状況が伺えた。いずれのトレンチにおいても明確な遺構の出土はなく、遺物の出土も確認されなかった。

1	1 表土	
2	2 霧島御池軽石	
3	3 褐色土	しまり弱く、やや粘性。
4	4 褐色土	しまり強い。ブロック状のアカホヤ火山灰を含む。アカホヤ二次堆積。
5	5 アカホヤ火山灰	
6	6 黒色土 (カシワバン)	非常にしまりが強く、硬質。牛の脛火山灰に相当する。
7	7 灰褐色土	しまり非常に強い。ごく少量の赤色、白色粒子を含む。
8	8 褐色土	しまりやや弱い。ごく微量の赤色粒子を含む。
9	9 褐色土	ブロック状の小林軽石を多量に含む。

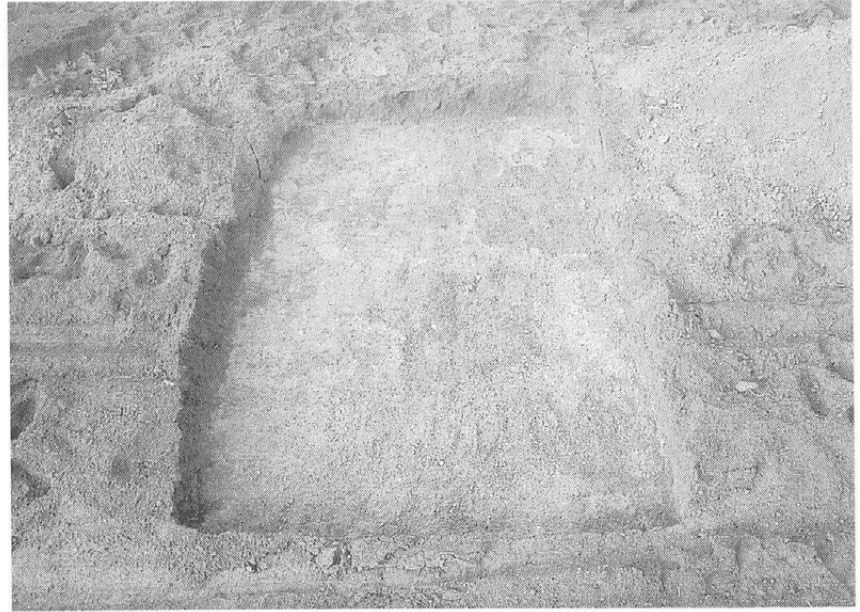
第15図 田辺第1遺跡層序模式図



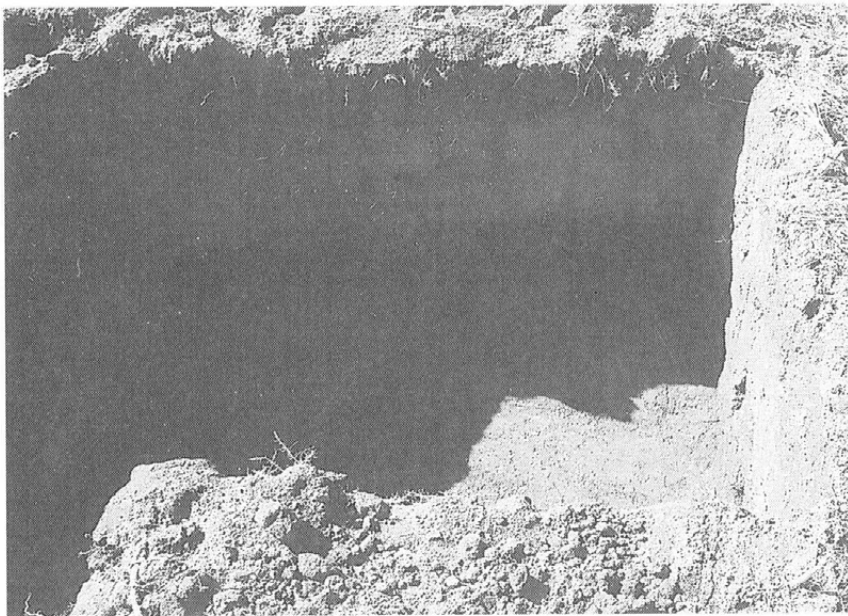
第16図 田辺第1遺跡トレンチ位置図



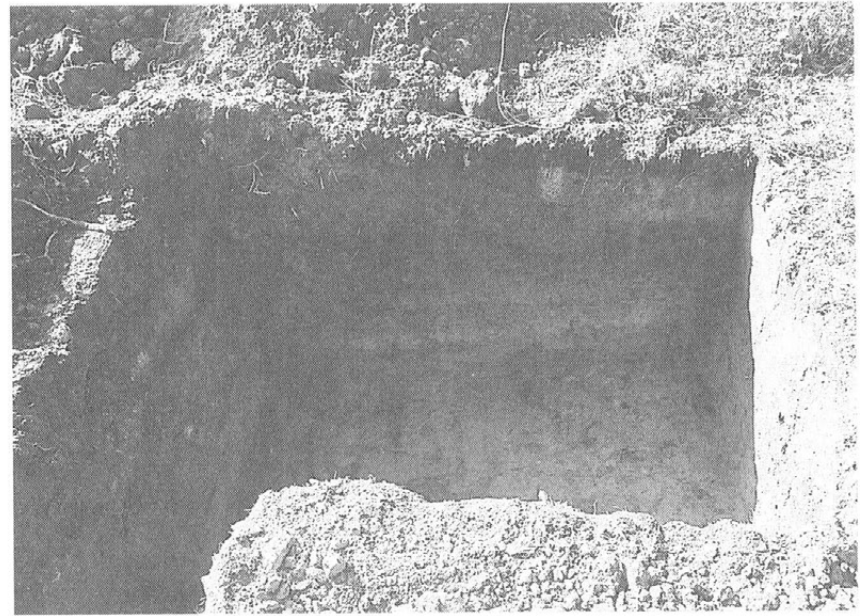
図版33 田辺第1遺跡近景



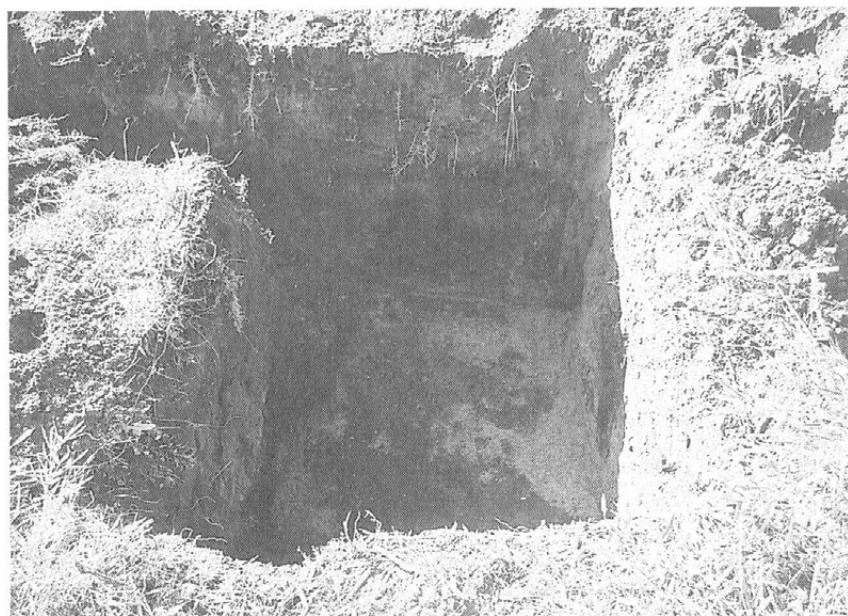
図版34 田辺第1遺跡1号トレンチ



図版35 田辺第1遺跡2号トレンチ



図版36 田辺第1遺跡3号トレンチ



図版37 田辺第1遺跡4号トレンチ



図版38 田辺第1遺跡作業風景

Ⅱ 竹楽のおサト建設に伴う埋蔵文化財試掘・確認調査：石山迫第3遺跡

調査に至る経緯

今回の調査は高城町が計画した米粉パン工房「竹楽のおサト」建設事業に起因する。

平成16年8月、高城町建設課より高城町教育委員会に「竹楽のおサト」建設事業予定地内における埋蔵文化財について照会があった。そのため高城町建設課と高城町教育委員会との間で協議が進められ、平成16年8月29日に試掘・確認調査を実施した。

位置と環境

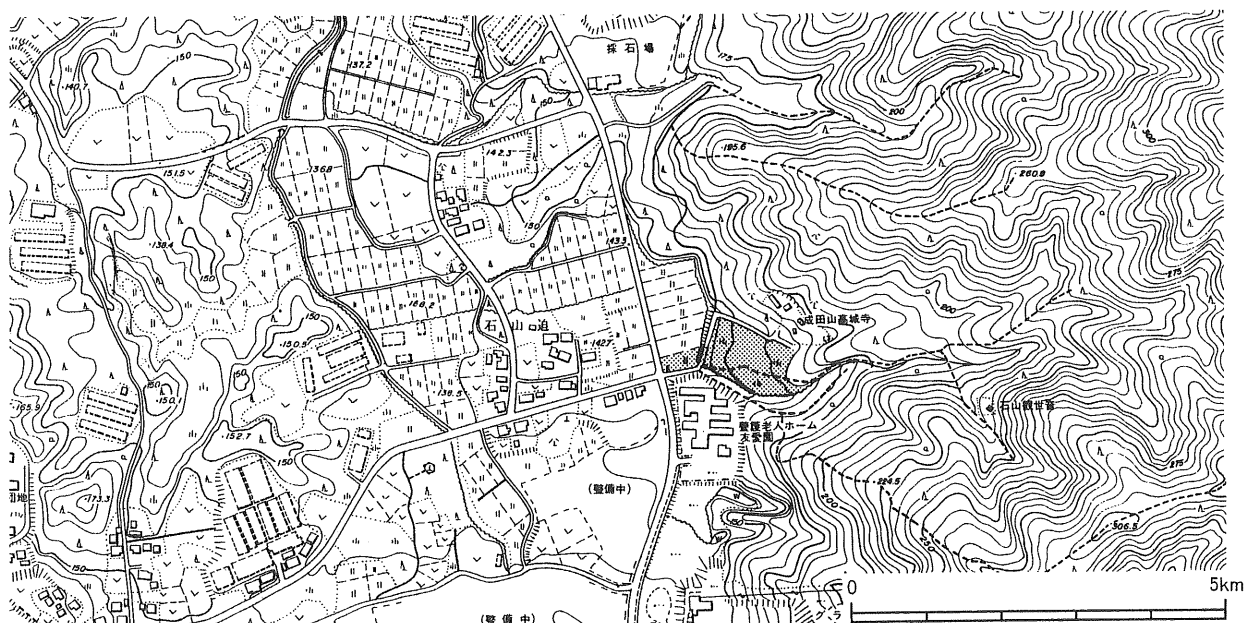
養護老人ホーム「友愛園」北側の開発予定地は「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において石山迫第3遺跡(縄文時代～古墳時代：遺物散布地)として記録されている。以前は水田として利用されていたが、現在は約1mのかさ上げがなされた造成地となっている。石山迫第3遺跡の西側は観音寺観音堂へ続く参道が山の斜面を抜け、参道北側は数段にわたる造成がなされていた。そのため江戸時代から続く観音寺の隣接地として何らかの寺院遺構等の存在が考えられた。

調査の内容

調査は2m×3mを基本とするトレンチ7本を設定し、遺構遺物の確認を行った。堆積状況は各トレンチとも耕作土もしくは造成土以下が砂礫層および礫層となる。また約1m掘り下げた時点で湧水が各所にみられた。なお造成土については現代の廃材、廃棄物等が含まれており近世寺院に係る造成とは考えられない。各トレンチとも遺構・遺物の出土は確認されなかった。

1	1 造成土
2	2 砂礫層
3	3 礫層

第17図 石山迫第3遺跡層序模式図



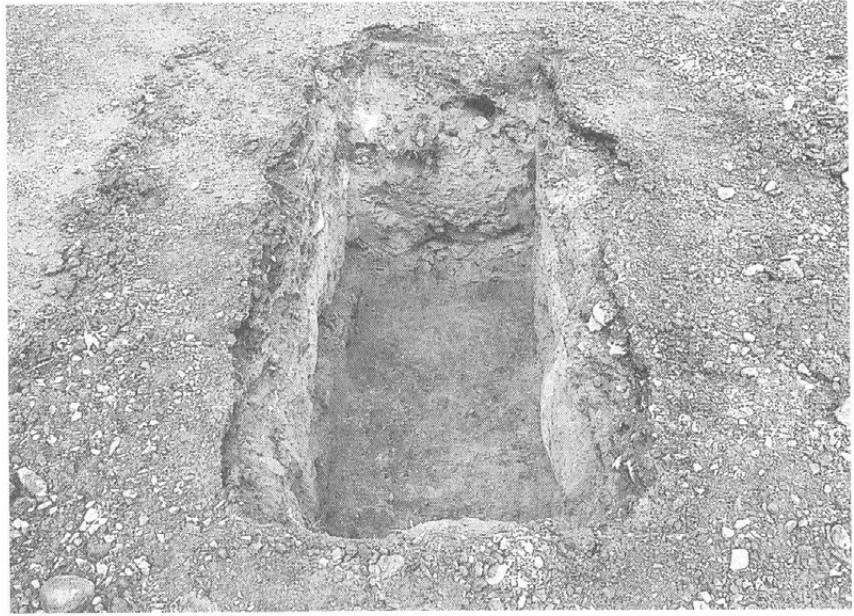
第18図 石山迫第3遺跡調査地位置図(1/10,000)



第19図 石山迫第3遺跡トレンチ位置図



図版39 石山迫第3遺跡近景



図版40 石山迫第3遺跡1号トレンチ



図版41 石山迫第3遺跡3号トレンチ



図版42 石山迫第3遺跡5号トレンチ

Ⅲ 須田木・軍人原線町道拡幅工事に伴う埋蔵文化財試掘確認調査

調査に至る経緯

今回の調査は高城町が計画した須田木・軍人原線町道拡幅工事に起因する。

平成16年8月、高城町建設課より須田木・軍人原線町道拡幅工事予定地内における埋蔵文化財について照会があった。そのため高城町建設課と高城町教育委員会との間で協議が進められ試掘調査を実施した。

牧ノ原遺跡群においては平成16年12月14日、2m×3mを基本とするトレンチ3本、社ヶ原遺跡においては平成17年3月28日、トレンチ5本を設定し、遺構遺物の確認を行った。

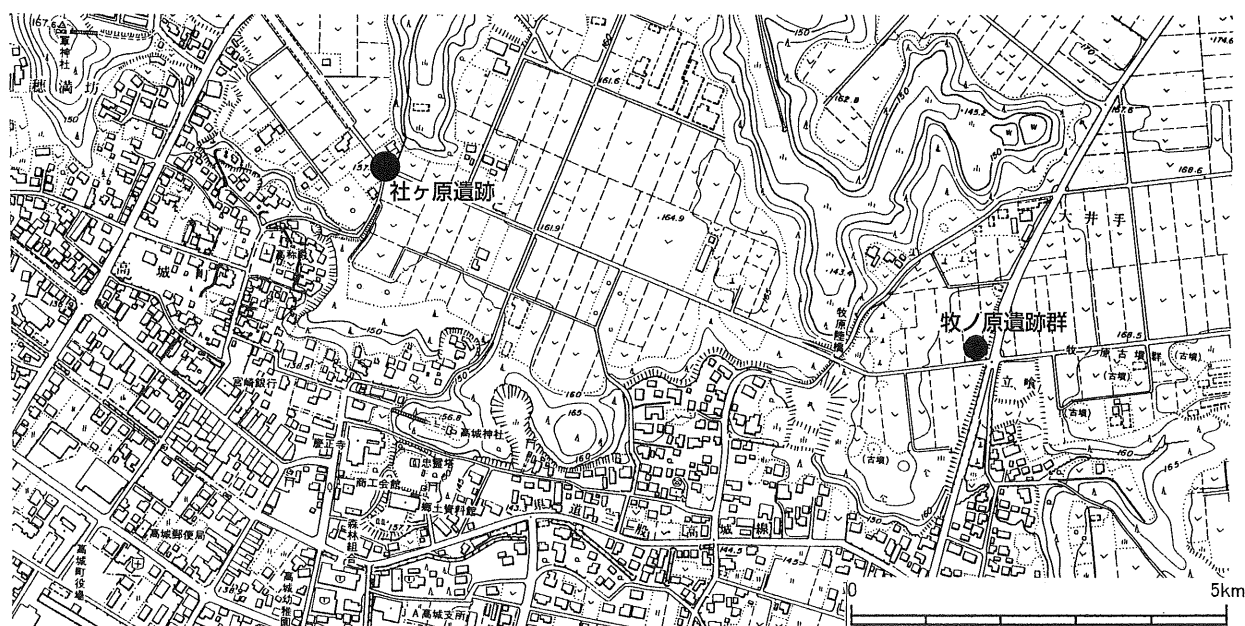
1 牧ノ原遺跡群

位置と環境

牧ノ原遺跡群は高城町の南部、大淀川の支流である東岳川右岸、標高約160m～170mの河岸段丘上に立地し、大字大井手字牧ノ原、立喰に所在する。台地上のほぼ全域が「町内遺跡分布調査報告書」（1998 高城町教育委員会）において縄文時代～平安時代の遺物散布地として記録されている。開発予定地は牧ノ原遺跡群のほぼ中央に位置する。現在は畑地として利用されている。牧ノ原遺跡群においては前方後円墳3基、円墳10基が確認されており、また過去4回の発掘調査により箱式石棺5基、地下式横穴墓13基、土坑墓1基が出土している。

調査の内容

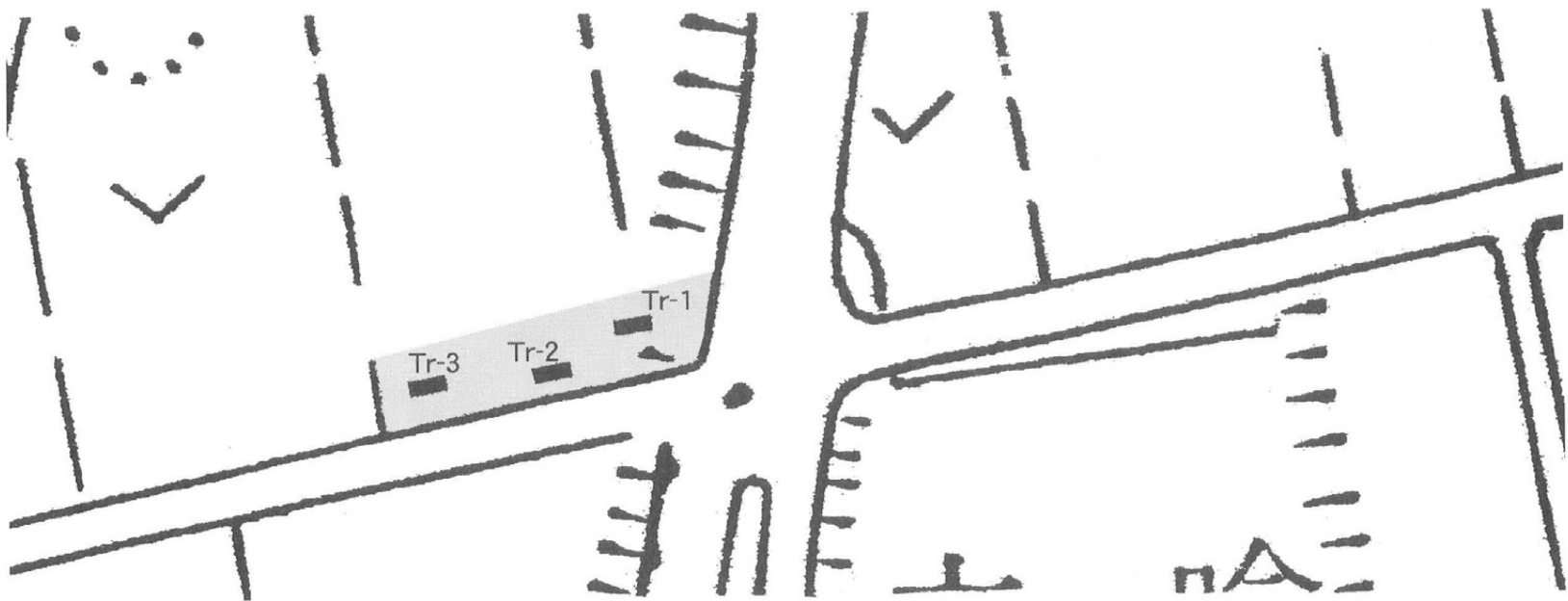
堆積状況は各トレンチとも表土もしくは造成土以下が霧島御池軽石上層遺物包含層である黒褐色土・黒色土となる。1～3号トレンチいずれからもピットが出土した他、地下式横穴墓の竪坑部1基、が検出された。この結果に基づき、発掘調査が実施され箱式石棺1基、割竹形木棺1基、地下式横穴墓3基が出土した。



第20図 牧ノ原遺跡群・社ヶ原遺跡調査地位位置図(1/10,000)

1	1 表土	
2	2 黒褐色土	しまり強い。微量の高原スコリアを含む。
3	3 黒色土	しまりやや弱い。微量の高原スコリアを含む。
4	4 黒褐色土	しまりやや弱い。ごく少量の霧島御池軽石を含む。
5	5 黒褐色土	しまりやや弱い。微量の霧島御池軽石を含む。
6	6 黒褐色土	しまり強い。ごく少量の霧島御池軽石を含む。
7	7 暗褐色土	しまり非常に強い。少量のブロック状の霧島御池軽石を含む。
8	8 霧島御池軽石	

第20図 牧ノ原遺跡群層序模式図



第21図 牧ノ原遺跡群トレンチ位置図



図版43 牧ノ原遺跡群遠景 1



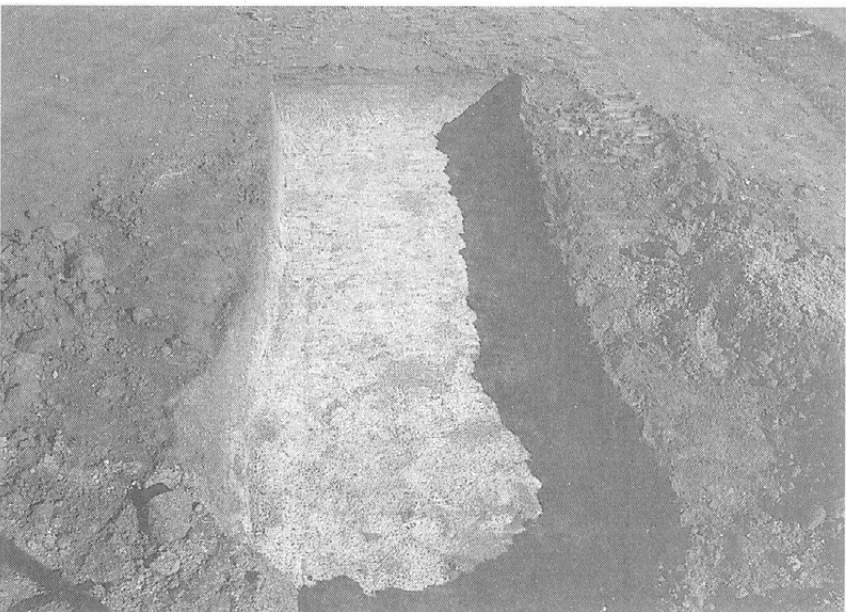
図版44 牧ノ原遺跡群遠景 2



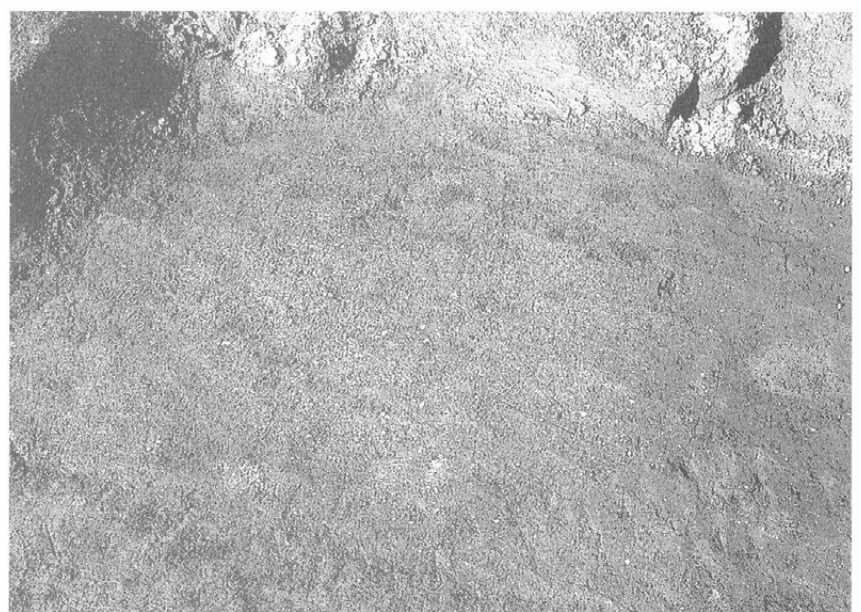
図版45 牧ノ原遺跡群 1号トレンチ



図版46 牧ノ原遺跡群 2号トレンチ



図版47 牧ノ原遺跡群 3号トレンチ



図版48 牧ノ原遺跡群地下式横穴墓竪坑検出状況

2 社ヶ原遺跡

位置と環境

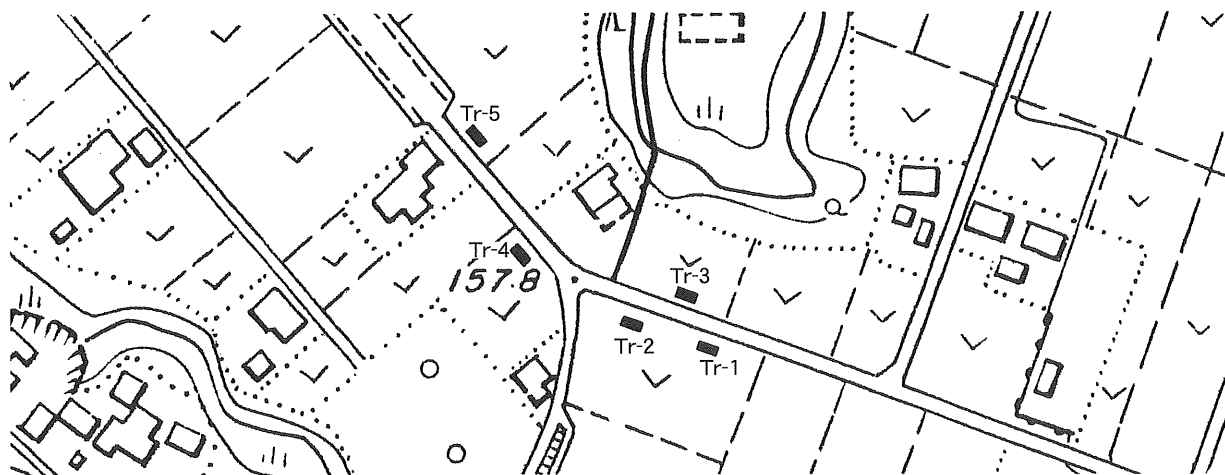
社ヶ原遺跡は高城町の南部、大淀川の支流である東岳川右岸、標高160m～170mの河岸段丘上に立地し、大字大井手字社ヶ原に所在する。台地上のほぼ全域が「町内遺跡分布調査報告書」（1998 高城町教育委員会）において弥生時代、古墳時代、中世の遺物散布地として記録されている。台地南側縁辺には中世城郭である高城（月山日和城）が形成され、谷を挟み西側の台地上には13基の県指定古墳を含む牧ノ原遺跡群が位置する。開発予定地は社ヶ原遺跡の東端に位置する。現在は畑地として利用されている。

調査の内容

堆積状況は各トレンチとも耕作土以下が10～13世紀に霧島火山から噴出したとされる高原スコリアを含む黒灰褐色土となり、良好な堆積状況を保っていた。また霧島御池軽石の厚い堆積（約120cm）が確認された。いずれのトレンチにおいても明確な遺構は検出されず、遺物の出土も確認されなかった。

1	1 表土	
2	2 黒灰褐色土	しまり強い。ごく少量の高原スコリアを含む。
3	3 黒色土	しまり強い。ごく少量の霧島御池軽石を含む。
4	4 黒褐色土	しまり弱い。少量の霧島御池軽石を含む。
5	5 霧島御池軽石	
6	6 黒色土	しまり弱く、粘性。ごく微量の赤色粒子を含む。
7	7 黒色土	しまり弱い。6層よりやや明るく、ごく微量の赤色粒子を含む。
8	8 明褐色土	しまり強い。ごく少量のアカホヤ火山灰ブロック、赤色粒子を含む。
9	9 アカホヤ火山灰	

第22図 社ヶ原遺跡層序模式図



第23図 社ヶ原遺跡トレンチ位置図



図版49 社ヶ原遺跡近景



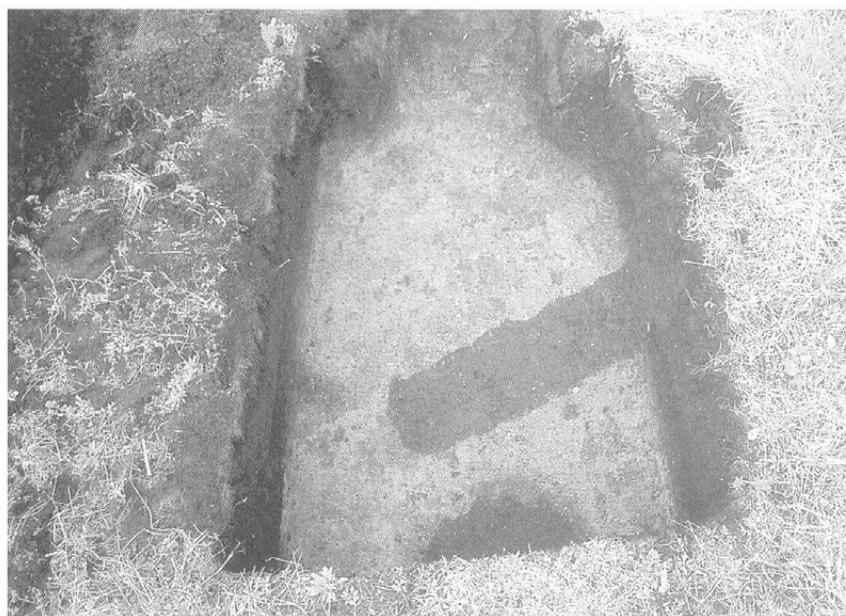
図版50 社ヶ原遺跡2号トレンチ



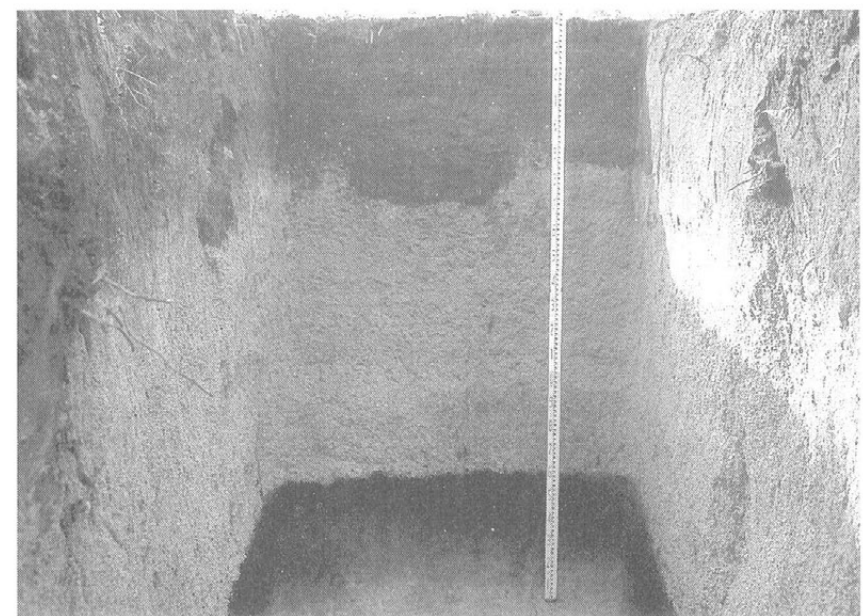
図版52 社ヶ原遺跡3号トレンチ



図版52 社ヶ原遺跡4号トレンチ



図版52 社ヶ原遺跡5号トレンチ



図版54 社ヶ原遺跡5号トレンチ土層堆積状況

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせきはつくつちょうさほうこくしよ							
書名	町内遺跡発掘調査報告書V							
シリーズ名	高城町文化財調査報告書							
シリーズ番号	第17集							
編集者名	近沢恒典							
編集機関	高城町教育委員会							
所在地	宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊46番地2							
発行年月日	2005年3月							
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ウエハライセキゲン 上原遺跡群	タカジョウチョウウオオアザリミズアザウエハラ 高城町大字有水字上原	453439	5058	31° 51' 51"	131° 07' 40"	2004, 9, 13/10, 12	36㎡	たばこ反転客土事業
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
上原第1遺跡	散布地	縄文時代 古墳時代 古代 中世						
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
ヤマシロダイ1イセキ 山城第1遺跡	タカジョウチョウウオオアザリミズアザヤマシロ 高城町大字有水字山城	453439	5063	31° 52' 14"	131° 07' 57"	2004, 9, 14	30㎡	たばこ反転客土事業
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
山城第1遺跡	散布地	縄文時代～古墳時代 古代 中世 近世					縄文土器	
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
ゲノイセキ 下野遺跡	タカジョウチョウウオオアザリミズアザゲノ 高城町大字有水字下野	453439	5023	31° 51' 48"	131° 08' 04"	2004, 9, 15/12, 10	20㎡	たばこ反転客土事業
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
下野遺跡	散布地	縄文時代 弥生時代					縄文土器	
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
ナカノダイ1イセキ 中野第1遺跡	タカジョウチョウウオオアザリミズアザナカノ 高城町大字有水字中野	453439	5029	31° 51' 49"	131° 8' 25"	2004, 12, 8/12, 9	43㎡	たばこ反転客土事業
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
中野第1遺跡	散布地	縄文時代 弥生時代					縄文土器 土師器	
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
タナベダイ1イセキ 田辺第1遺跡	タカジョウチョウウオオアザリミズアザタナベ 高城町大字有水字田辺	453439	5038	31° 52' 23"	131° 8' 48"	2004, 12, 13	24㎡	たばこ反転客土事業
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
田辺第1遺跡	散布地	弥生時代						
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
イシヤマサコダイ3イセキ 石山迫第3遺跡	タカジョウチョウウオオアザリミズアザイシヤマ 高城町大字有水字池平	453439	4014	31° 49' 48"	131° 8' 22"	2004, 8, 29	42㎡	米粉パン工房建設事業
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
石山迫第3遺跡	散布地	弥生時代 古墳時代						
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
マキノハライセキゲン 牧ノ原遺跡群	タカジョウチョウウオオアザリミズアザマキノハ 高城町大字有水字牧ノ原	453439	2017	31° 47' 55"	131° 08' 36"	2004, 12, 14	18㎡	町道拡幅
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺構		主な遺物	特記事項
牧ノ原遺跡群	散布地	縄文時代～平安時代			地下式横穴墓 ビット			
フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号							
シメガハライセキ 社ヶ原遺跡	タカジョウチョウウオオアザリミズアザシメガハラ 高城町大字有水字社ヶ原	453439	2020	31° 48' 17"	131° 8' 3"	2003, 10, 1	2,800㎡	町道拡幅
所収遺跡名	種別	主な時代			主な遺物		主な遺構	特記事項
社ヶ原遺跡	散布地	弥生時代 古墳時代 中世						

高城町文化財調査報告書第17集
町内遺跡発掘調査報告書V

2005年3月 発行

編集・発行 高城町教育委員会
宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊46番地2
郵便番号885-1202 電話番号0986-58-2317

印刷・製本 (有)アマガミ印刷
宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊144番地4
郵便番号885-1202 電話番号0986-58-5851